



向山から読み解く“仙台”

ーパノラマ絵葉書でタイムスリッパー

2017年 5月 28日(日) 13:00~16:00



SMMA 見験楽学ツアー



【編集】東北学院大学博物館

【発行】仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局

〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1 (せんだいメディアテーク内)

TEL 022-713-4483/FAX 022-713-4482

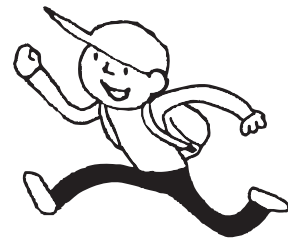
E-mail office@smt.city.sendai.jp

2017.5.28

SmMA
SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE
仙台・宮城ミュージアムアライアンス

持ち物リスト

- ◆歩きやすい靴・服装
- ◆飲みもの
- ◆雨具
- ◆筆記用具



注意事項

- ◆大きな声で話すなど、地域の方に迷惑となる行為は謹んでください。
- ◆ツアールートには、道幅の狭い歩道などもあります。車などには十分注意し、各自責任を持って行動してください。特に、歩きながらのスマートフォンは大変危険ですので控えてください。
- ◆当日の天候などにより、コース内容を変更したり、中止したりすることがあります。
- ◆ツアー参加中のけがや病気、事故などについては、SMMA事務局で加入している保険(レクリエーション傷害保険)の適用内とさせていただきます。

MEMO



見験楽学ツアー 06

向山から読み解く“仙台”

ーパノラマ絵葉書でタイムスリッパー

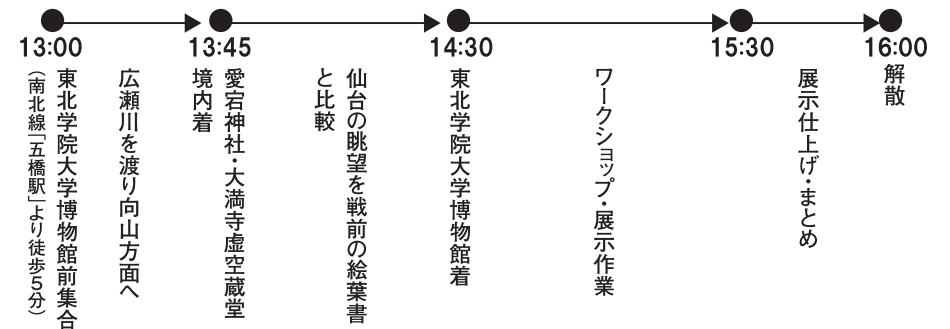
戦前の絵葉書では、仙台を一望する風景として向山からの眺望が、よく選ばれました。この象徴的な風景を「仙台イメージ」として、実際の風景と見比べながら読み解いてみましょう。ツアーでは、参加者全員で向山からの眺望から戦前の仙台に思いを馳せます。そして大学博物館を会場に風景を読み解くワークショップを行い、最後はそれを展示に仕上げます。

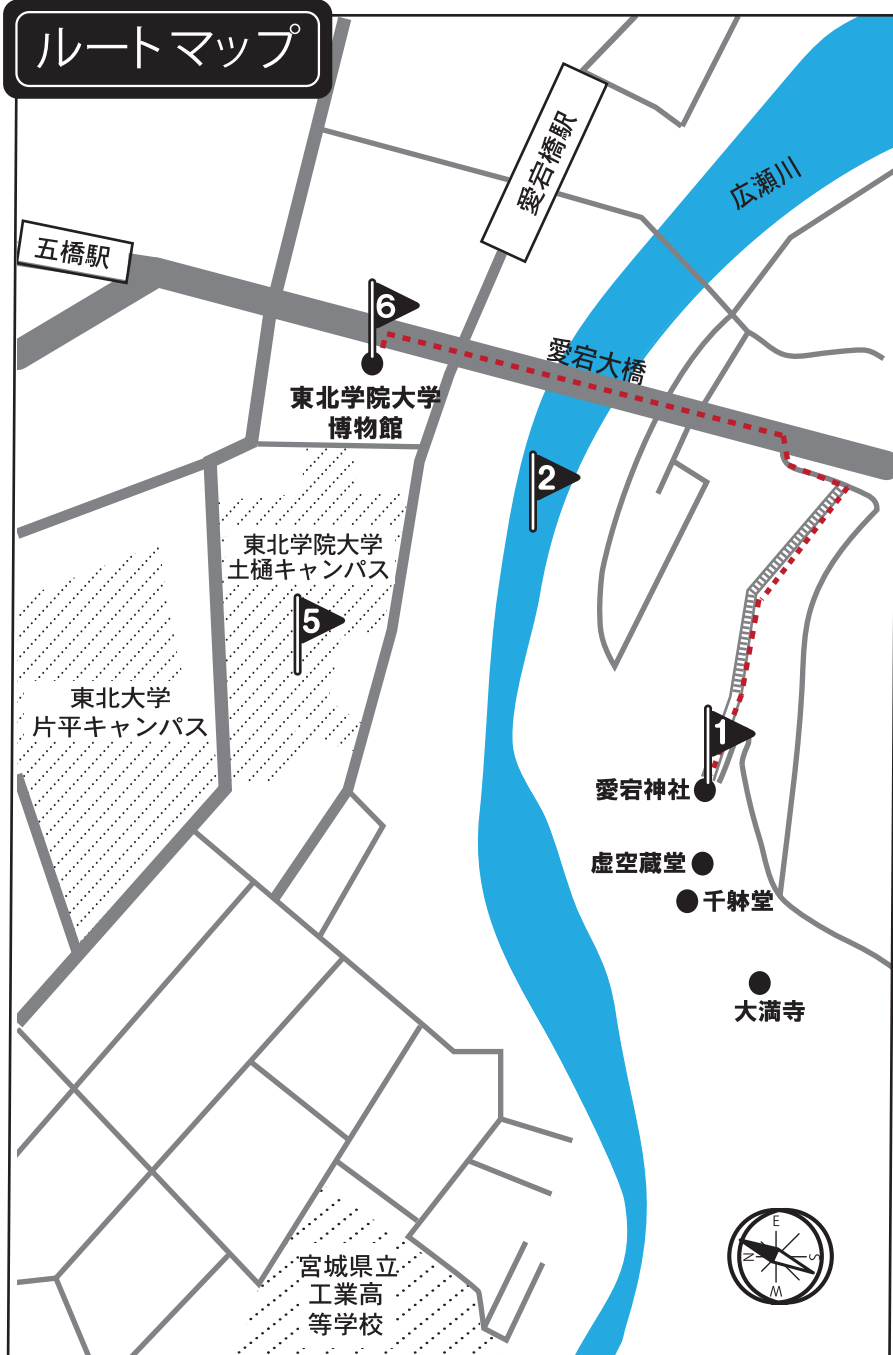
案内人 **加藤 幸治** (東北学院大学博物館 学芸員)

東北学院大学文学部歴史学科・教授、大学博物館学芸員を兼務し学芸員教育にも携わっています。専門は民俗学、とくに農山漁村の民具研究や郷土玩具、郷土食の調査をテーマとしています。東日本大震災では、牡鹿半島（宮城県石巻市）の資料の応急処置と整理を担当、学生たちと被災地での移動博物館やワークショップを通じて、博物館の復興、地域の文化創造活動の再生に取り組んでいます。

主な著作は『郷土玩具の新解釈』（社会評論社、2011年）、『復興キュレーション』（社会評論社、2017年）ほか。

コース





3 4 …ルートマップ外

仙台・宮城ミュージアムアライアンス これからの企画

SMMA 見験楽学ツアー 07 鉄道の裏がわ探検ツアー

平成 29 年 6 月 24 日 (土) 9:30 ~ 15:30

「鉄道」に焦点をあて、普段みることのできない鉄道の裏がわのお仕事や、新駅誕生の秘話をご紹介します。

(見学地…地下鉄富沢車両基地、富沢市電保存館、JR 仙台駅新幹線清掃の現場、東北福祉大学・鉄道交流ステーション、模型館)

参加費：弁当代 1000 円、このほか交通費等実費が必要

定員：15 名 (小学校高学年以上、小学生は保護者同伴)

申込締切：6 月 14 日 (水)

※応募者多数の場合は抽選

詳細は、仙台・宮城ミュージアムアライアンスホームページをご覧ください。



東北学院大学博物館 開催中の企画

ミニ企画展

「でこぼこ・まっすぐ・ぐるぐる～西の浜貝塚の土器～」

平成 29 年 2 月 13 日 (月) ~ 6 月 30 日 (金)

※6 月 24 日 (土) は入場無料

国指定史跡である縄文時代の貝塚「西の浜貝塚」から出土した土器の文様に注目しました。企画から展示まで、本学の学生が手掛けた企画展です。楽しい体験コーナーもありますよ！

○開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

○休館日：毎週日曜日、祝日・休日、大学の定める休業日

○駐車場：身体障害者専用駐車場 3 台

○入場料：一般 200 円

※学校法人東北学院の役員・教職員・学生・生徒・園児・旧役員・旧教職員は無料。

※大学同窓生は、ホームカミング・デー等の館長の定める行事日は無料。

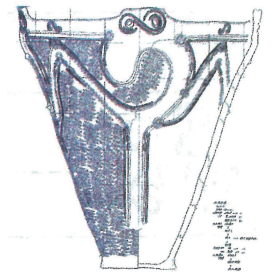
※未就学児、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校もしくは高等専門学校の児童、生徒又は学生、65 歳以上の方、障害者基本法に定める障害者と介護者 1 名は無料。

…ルートマップ外



展示中の縄文土器の文様から生まれたよ。
展示の解説は僕におまかせあれ！

イメージキャラクター ときのすけ



仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA)

仙台・宮城地域のさまざまな博物館が共通の知的資源として協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを累積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指して活動しています。

www.smma.jp

SMMA参加館

社会福祉法人共生福祉会 福島美術館



仙台の実業家・福島家3代が収集した作品約3000点を収蔵。伊達家旧蔵品、宮城県や福島家に縁のある作品を元に企画展を開催します。

仙台うみの杜水族館



豊かな日本の海や自然環境を体感できる大水槽、海の生きものたちによる東北最大級のパフォーマンスなど様々なコンテンツを有する水族館です。

せんだい3.11メモリアル交流館



東日本大震災の記憶と経験を媒介に、コミュニケーションを通じて知恵と教訓を紡ぎだし、未来へ、世界へとつないでいく拠点です。

スリーエム仙台市科学館



緑豊かな台原森林公園内に建ち、自然史系、理工系、生活系の3つの展示室のほか、岩石や植物の屋外展示もあります。

仙台市縄文の森広場



山田上ノ台遺跡で発掘された縄文時代のムラを、植生環境とともに復元しています。土器づくりなどの体験活動を実施しています。

仙台市天文台



口径1.3mの「ひとみ望遠鏡」やプラネタリウム、天文展示室等を備えた総合天文博物館です。

地底の森ミュージアム(仙台市富沢遺跡保存館)



富沢遺跡から発見された2万年前の人間の生活跡と森林跡を保存し、公開しています。

仙台市博物館



伊達家寄贈文化財をはじめ、仙台に関わる歴史・文化・美術工芸資料等を収蔵し、常設展では随時約1,000点を展示しています。

セルコホーム ズーパラダイス八木山



世界各地に生息する約500種の動物たちを飼育・展示している東北最大の動物園です。

仙台市歴史民俗資料館



県内最古の洋風木造建築である旧陸軍兵舎を利用し、明治時代以降の仙台の歴史と人々の暮らしを紹介しています。

仙台文学館



明治以降の郷土ゆかりの文学者、土井晩翠や島崎藤村をはじめ、井上ひさし初代館長や現在活躍中の作家を紹介しています。

せんだいメディアテーク



図書館、ギャラリー、スタジオ、映像音響ライブラリーなどの機能を備えた、市民の美術や映像文化の活動拠点です。

東北学院大学博物館



東北学院大学の歴史・文化に関する研究成果をもとに、様々な展示・企画を行う大学博物館。学芸員養成の場としての役割も担う。

東北大学総合学術博物館



大学の研究者たちが世界中から集めた珍しい化石や鉱物、土器や石器、骨格標本、有孔虫、サンゴなどを展示しています。

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館



人間国宝(型絵染)で日本を代表する染色工芸家芹沢銈介の作品と、氏が収集した世界の工芸品を紹介しています。

東北福祉大学・鉄道交流ステーション



東北福祉大学が運営する駅前の鉄道資料館。鉄道をテーマにした企画展と模型館を中心に広く一般の方にも大学をご利用いただけます。

(2017年5月現在)



愛宕山と愛宕神社

愛宕神社は、伊達政宗と共に米沢、岩出山を経て仙台へと移ってきました。同時期に移ってきたものとして、定禅寺や梁川八幡宮(現・亀岡八幡宮)などもあります。2代藩主忠宗の時に、当時経ヶ峯にあった大満寺の虚空蔵堂と共に、元寺古路付近から愛宕山に移されました。

愛宕山・向山周辺には、古墳時代の装飾横穴墓や、それを改変した鎌倉時代のやぐら(横穴式の納骨・供養施設)、板碑などが点在しており、以前から霊場的な空間として認識されていたと考えられています。

明治時代、桜ヶ岡公園(現在の西公園)が手狭となり、公園の拡張・移転が問題となりますが、移転先の有力な候補地の一つとして、榴ヶ岡や東照宮と共に愛宕山が挙がっていました。

広瀬川

仙台市のシンボルである広瀬川はヒット曲『青葉城恋唄』にも歌われ親しまれている川です。昭和25年8月、広瀬川にて洪水が発生し、熱帯性低気圧により長雨になったことで、多くの河川で被害が出たことがあります。広瀬川の水質は人口増加に伴う生活排水により、1970年をピークに悪化しましたが、市民の清掃活動や下水道整備などのめざましい活躍によって1985年に名水百選に選ばれてました。



見どころ

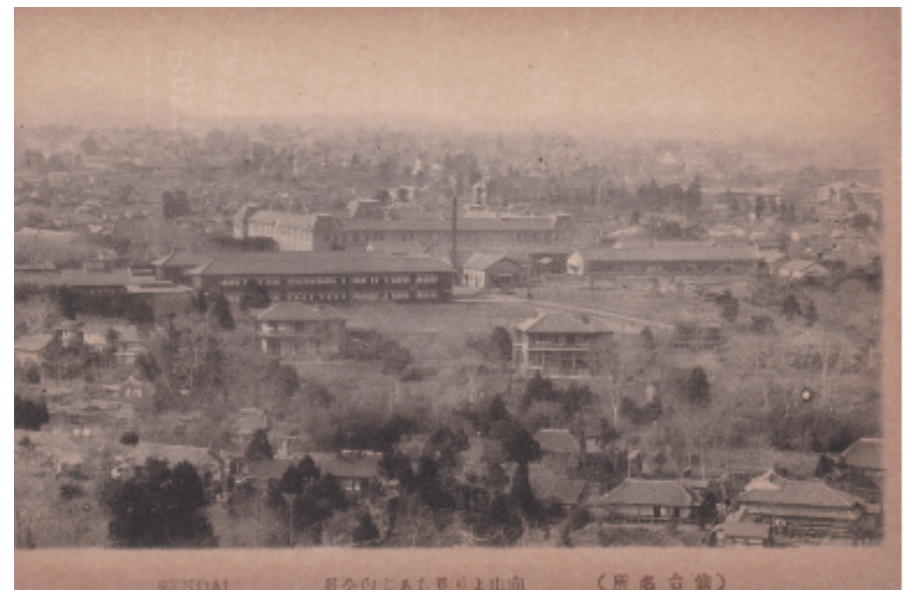
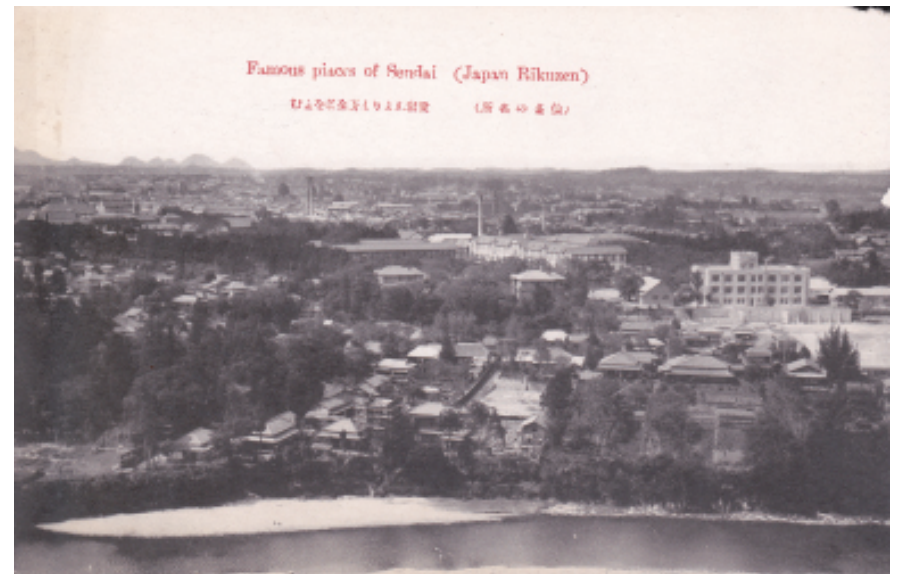
3 霊屋橋

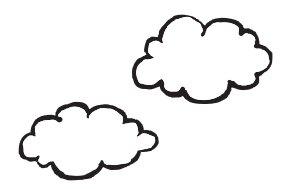
伊達政宗公のおたまやに至る「霊屋橋(おたまやばし)」は広瀬側に架けられた橋では1番短く、その歴史は明治41年に始まります。当時は「越路橋(こえぢばし)」という名でしたが、明治43年には流されてしまい、現在の鉄筋コンクリートのアーチ橋になるまでは仮橋でした。その名は越路山に通じることから名付けられたもので、人が越える路という意味です。この辺りを京から来た旅人が通ったのでしょうか。ちなみに橋の淵の「源兵衛淵」には、この場所でクモとウナギの戦いにウナギから声援を頼まれた源兵衛は戦いの凄まじさに声が出ず、結局ウナギが負けた。という伝説があります。

4 仙台高等裁判所

現在、片平にあるこの裁判所は江戸時代、大身(たいしん)の侍屋敷が並んでいた場所でした。そこに明治8年、宮城上等裁判所として設けられたのが始まりです。

明治14年に宮城控訴裁判所と改称し、新築されました。それは、木造2階建てでルネッサンス風の美建築でした。そして明治19年に宮城控訴院と改称され、大正12年に秋保石積、赤タイル張りの新庁舎が新築されました。第2次世界大戦後に高等裁判所となりました。





5 **東北学院旧宣教師館(デフォレスト館)**

デフォレスト館は明治 20 年に宣教師のために建てられたコロニアル・スタイルの住宅です。同志社を創立した新島襄と共に、「宮城英学校(のちの東華学校)」を仙台に設立したアメリカ人宣教師デフォレスト(ジョン・ハイド・デフォレスト)一家が長く住んだことから「デフォレスト館」とも呼ばれています。
平成 28 年夏に国の重要文化財に指定されました。

5 **東北学院大学本館**

東北学院大学本館は大正 15 年に土樋キャンパスに建てられた最初の建物です。建築様式はカレッジ・ゴシック様式で、外壁には秋保産の灰白色自然石が使用されています。大正 15 年当時の約 23 万円が建築費用に当てられ、内 5 万円は政財界などから寄付を受けました。
平成 26 年冬に国の登録有形文化財に登録されています。

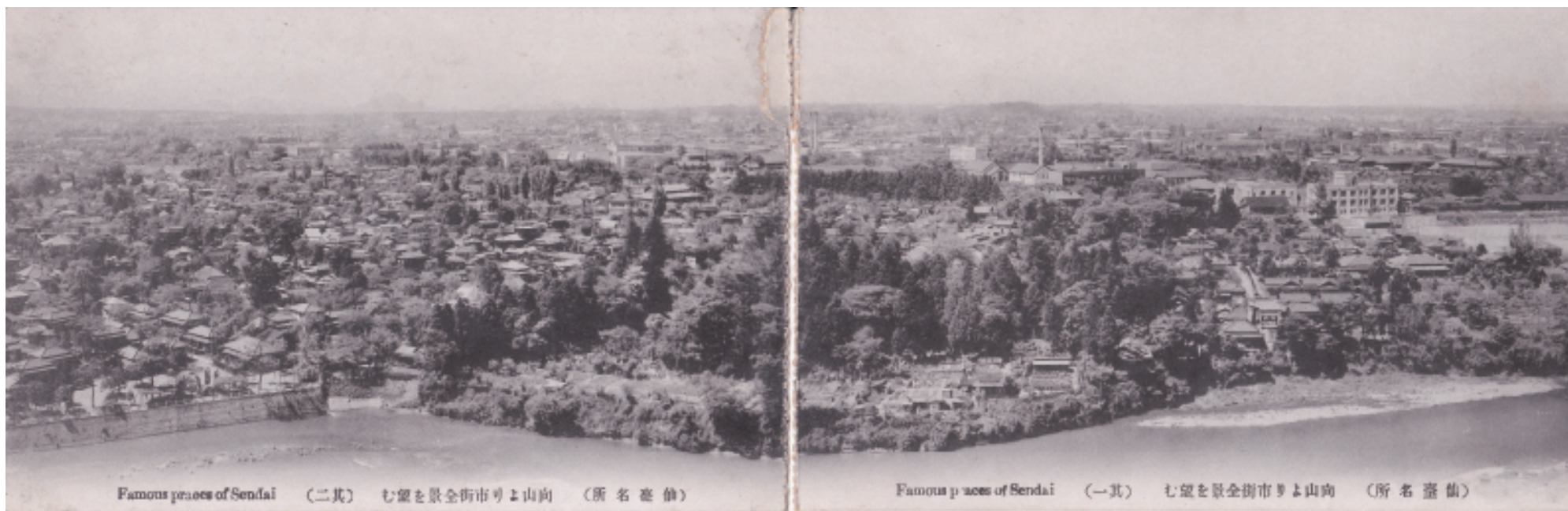
6 **東北学院大学博物館**

2009 年に開館した東北学院大学博物館は、大学の研究成果、とくに教員と学生がともに調査研究を行った内容について展示を通じてご紹介する大学博物館です。博物館活動は学芸員を目指す大学院生や文学部の学生によって営まれています。発掘や文化財レスキューなど、地域とのかかわりを大切にしながら楽しく活動を展開しています。



当日のワークショップについて ...

皆さんにはまず、昔の仙台の様子を写した絵葉書と愛宕山から見た仙台の様子を比較してもらいます。昔と今とで仙台の街並みがどのように変化していったのか注目してみましょう。



ワークショップでは絵葉書と愛宕山から見た仙台の様子をもとに参加者一人一人の思い出を共有してもらいます。皆さんの思い出上の絵葉書をいっぱいにしましょう。あなたの知っている仙台を教えてください。